

目次

get together

- ①作成背景•目的
- 2実装機能

イベント企画投稿サイト

③デモ

- **GET TOGETHER ・・・「集まる」という意味**
- 4考察·展望

①作成背景•目的

GET TOGETHER

〈背景〉

- 過去の自分の経験:長期の海外出張先で現地の友達を作りたい・一緒に スポーツをしたい
- 一般的なニーズ:引越し先や出張先などでその土地に知り合いがいない状態でオフラインの繋がりを作ることは難しい
- ⇒対面での交流の場を提供するサービスは需要がある
- ・昨今の世界情勢:新型コロナウイルスの流行により、対面での交流が激減
- ⇒さらに需要は高まっていると予想

①作成背景 · 目的

GET TOGETHER

- ・共通の趣味やアクティビティをする場を求めている人
- ・共通の趣味や話題を通じて友達を作りたい人

に対して

・「気軽に交流の場を企画したり、参加できる場」を提供すること。

(*企画者:スポーツ、読書、英会話交流会などを企画→参加者を募る、

*応募者:自分の興味のあるイベントを検索→参加)

【特徴】

・共通の趣味などを通じて集まることができる点(カテゴリ設定、詳細検索)

2)実装機能

GET TOGETHER

- ・①ログイン関連
- ・ 2 自分の投稿関連
- 3投稿閲覧関連
- ・4アカウント管理関連



GET TOGETHER

デモをご覧ください

4 考察·展望

GET TOGETHER

〈1.ユーザーが使いやすいデザイン〉

- ・メール認証によるパスワードリセット機能
- ・新規投稿作成の(カテゴリ)ドロップダウンメニュー
- ・検索機能の充実(条件を追加、絞り込み検索)
- ・位置情報を追加

4 考察·展望

GET TOGETHER

〈2.開発環境·技術関連〉

- ・GITHUBでバージョン管理
- ・Mapと連携し位置情報を追加
- ・画像のアップロード

